

「弁護士だった  
私が犯罪者にされた」

弁護士  
が書いた  
衝撃の  
ノンフィクション  
ノベル

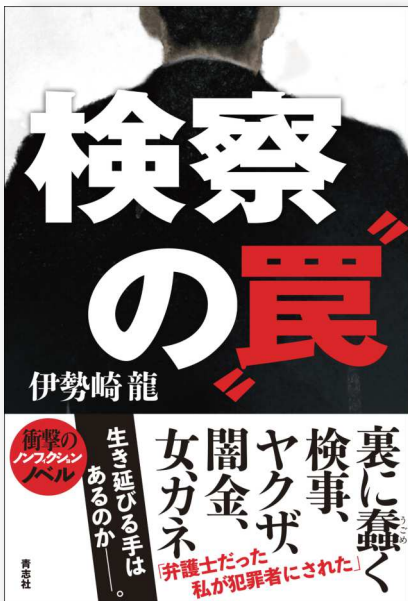
司法の闇!

裏に蠢く検事、  
ヤクザ、闇金、女、カネ

# 検察の"畏"

伊勢崎 龍

刑事司法は、判決が確定するまでは  
被告人は無罪であるとする  
「無罪推定の原則」があるが、  
それはまったく無視され、  
被告人は地獄の入り口に絶望を  
背負わされて立たされる。  
起訴されたら九十九・九九九  
パーセントの割合で有罪になる。  
起訴されたら確実に有罪になる  
ということなのだ。



5/10 (木)  
産経新聞  
半5段  
広告! 予定

5/8 (火)  
搬入 予定

四六判並製 392ページ

定価 1500円 + 税

ISBN 978-4-86590-063-7 C0095

発行: 青志社

お問い合わせ: 青志社 営業部 〒107-0052 東京都港区赤坂 6-2-14レオ赤坂ビル4F TEL03-5574-8511 FAX03-5574-8512

注文票	検察の"畏"	番線印
	伊勢崎 龍	
定価 1500円 + 税 ISBN 978-4-86590-063-7 C0095 発行: 青志社	冊	(御担当 様)